原子力災害から身を守ろう

命を守ろう

PAZ(原発から)とUPZ(原発から5)で、原子 力災害時の対応が異なる

万が一原子力災害が発生した場合、

●PAZの方々は、放射性物質の放出前に予防的に避

●UPZの方々は、まずは建物の中で屋内退避を行い、

参照→P.92

難を行う。

空間放射線量の値に基づいて避難を開始する。

緊急事態区分

県や市町村からの指示

緊急速報メール、広報車、 防災行政無線等による広報

予防的防護措置を準備する区域 ニュニゼット 原発から ✓ 5km圏

重大な事故が起きたら放射性物質 放出前に トトトトト 即、避難 避難により健康リスク **屋内退避** が高まるような方 **屋内退避**

警戒事態

避難準備

の指示

要配慮者の避難準備

施設敷地

要配慮者の 避難指示

要配慮者の避難

避難により健康リスクが まるような方は屋内退避施設/

※放射線防護対策を

※P.41参照

住民の避難準備 (安定ヨウ素剤の服用準備

住民の避難 (安定ヨウ素剤の服用)

安定ヨウ素剤の

服用及び 避難指示

全面緊急事態

避難指示

お住まいの地域の空間 放射線量の値が基準を 超えた場合に避難する ことになる。

UPZ原発から 5~30km圏

原則として 屋内退避

空間放射線量の値が国の基準を超 えた地域は >>> 一時移転

屋内退避の準備指示

屋内退避の指示

1時間あたり 20世Sv以上

時移転(1调間以内)

避難(数時間以内) (避難に際して、

1時間あたり

500 u Sv以上

安定ヨウ素剤の服用





屋内退避の準備



屋内退避



(一時移転に際して、



